

令和5年度図書館読書啓発事業
家読（うちどく）推進講座

うちどく
家読でみんな
本が大好き！

家読（うちどく）とは、「家庭読書」の略語です。

「家族ふれあい読書」を意味し、「家族みんなで読書することで家族のコミュニケーションを深める」ことを目的とした読書運動です。

家読（うちどく）って、どうやるの？

決まりはありませんが、こんなことしています。

- 家族と同じ本を読む。読み聞かせする。
- 読んだ本の感想をみんなで話す。
- 図書館でいろいろな本を借りる。
- ノーゲーム、ノーテレビの日を決めて本を読む時間を作る。

素晴らしい本との出会いを、家族で共有する読書の楽しさを、ぜひ子どもたちに経験させてあげましょう。



令和5年 7月2日(日) 14:00～15:30

対象 18歳以上の方ならどなたでも

定員 先着50人まで受付

申込 6月6日(水) 9:00～

サンライブ2F総合案内へ

電話(0561-34-3111)、または直接

講師 榊原 悠介 氏

(子どもの本専門店「本とごはんある日」店主)

1985年愛知県生まれ。岐阜県土岐市の小学校で4年間、三重県桑名市の特別支援学校で4年間勤務。2018年ピンポイント絵本コンペ優秀賞、2019年講談社絵本新人賞佳作受賞。

2019年に岐阜県恵那市に、子どもから楽しめる本と日替わりごはんの店「本とごはん ある日」をオープン。



主催：みよし市立中央図書館